

活発な「熟議」が行われました 第2回全体会（9月11日）

9月11日（水）18：15より、矢吹町複合施設（KOKOTTO ホール）において「矢吹町学校運営協議会第2回全体会」が開催されました。今年度も、前半は今年度のテーマに基づく部会の枠を超えた「熟議」、後半は各部会に戻り「熟議」が行われました。

前半の熟議では、「何をやっていいのかわからない状況だったが、他部会の方の話を聞いて大変参考になった」や「小学校でも『ビブリオバトル』をやってみたい」等の感想が聞かれました。また、三神小学校区部会で行っている「メディアに関するチェックシート」の取組の実際について、幼稚園・小学校から詳しい説明がありました。

後半の部会では、前半の「熟議」を踏まえ、各部会ともテーマに基づいた後半の取組の進め方について再確認しました。また、他部会の取組も積極的に取り入れたいなどの声も聞かれるなど、CSとしての活動の充実ぶりが感じられました。

「熟議」を振り返って大杉教育長より、「今は、コミュニティースクールから、スクールコミュニティという一段先の流れも出てきている。(略)最終的に言われているのは『ウェルビーイング』であり、地域みんなが幸せな状態を保っていこうという考え方である。このような活動を通して、地域の方にも（学校を中心としながら）幸せな気持ちを味わっていただけるようにしていくことが大切。」との講評がありました。





後半の取組について

第3回全体会では、以下のことについて協議します。

- 今年度の部会の取組の成果と課題
- CS委員評価
- 次年度のビジョンの承認
- 教育委員会への意見の申し出
(ある場合)

なお、12月初旬には、「CS委員評価用紙」を送付いたしますので、よろしくお願いいたします。

あとがき

本会は、発足して6年目を迎えました。途中コロナ禍により、「紙上開催」等の措置を講じなければならない年もありましたが、多くの委員の皆様方の熱意に支えていただき、部会毎の活動や、全体会での「熟議」等も、大変活発に行われるようになっていきます。

今年度の取組も後半戦に入りました。CSの取組が、最終的にはどのような「子ども」の幸せに繋がっているのかについて、今年度のまとめを意識しながら、取組や「熟議」の充実を図ることができるよう、よろしくお願いいたします。